

# モニタリング結果報告書

施設名 : 大磯城山公園

指定管理者 : (財)神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 平塚土木事務所

(平成21年度 上半期)

## 管理運営状況総括

### 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月12日	5月20日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月10日	6月19日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月10日	7月21日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月10日	8月18日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月10日	9月18日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月10日	10月20日	月例報告書・日報・現場確認

### 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

#### (1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る  B : 提案どおり  C : 提案を下回る

#### (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

#### <提案内容の概要>

公園の設置目的、整備方針や特徴、これまでの取り組みを踏まえ、管理運営方針を「湘南の風土と邸園文化の継承、おもてなし」とし、県民サービスの向上、経費節減に努めた管理運営を行う。

- ①別荘跡地の資源の活用と魅力の向上
- ②快適なくつろぎ空間の提供
- ③地域との連携と湘南文化の発信

#### <実施状況>

- ①4月18日、19日 竹林ライトアップ 来場者約1,000人  
竹林をライトアップし、奥行きのある幻想的な雰囲気味わってもらうイベント。アンケートによると、約30%の方が初めてイベントのために来園されたとの結果があり、広報活動を積極的に対応した成果が現れていると思われる。
- ②5月 大磯町とタイアップした「ガーデンフェスタ2009」のイベントで、園内に公募によるガーデン展示を行った。(6月末まで実施)
- ③こども茶道体験教室(全3回・25名参加)、北蔵ギャラリー展示を適宜開催

### 3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	44,400	43,000	1,400	44,400	0
上半期計 (a)	22,968	21,940	0 (0)	19,707	3,261
4月	4,072	3,801	271 (179)	3,523	549
5月	3,475	3,232	243 (182)	3,086	389
6月	5,389	5,282	107 (121)	4,435	954
7月	3,572	3,461	111 (104)	3,036	536
8月	3,196	3,094	102 (93)	2,718	478
9月	3,264	3,070	194 (124)	2,909	355
下半期計 (b)					
合計 (a+b)	22,968	21,940	0 (0)	19,707	3,261

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

#### 収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

植物管理に関し、計画では四半期毎支出としていたが、年度末完成払いの契約を行ったことから、収支差額が大きくなっている。

#### (今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	87,659人	78,694人	11.4%
4月	10,657人	8,480人	25.7%
5月	50,030人	43,660人	14.6%
6月	7,618人	5,682人	34.1%
7月	6,671人	6,971人	△4.3%
8月	6,473人	6,884人	△6.0%
9月	6,210人	7,017人	△11.5%
下半期計 (b)	0人	0人	
合計 (a+b)	87,659人	78,694人	11.4%

##### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔散策利用型の公園であるため、週休日の天候に左右される傾向がある。〕

#### 5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	1				2	3
5月	1		1			2
6月					14	14
7月					6	6
8月					10	10
9月					7	7

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者により評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・遊具設置の希望	今後の課題
	・ひかりの広場へのトイレ設置の希望	今後の課題
職員対応	・	
	・	
事業内容	・池の魚取り、花の持ち帰り禁止のための指示の徹底	注意を徹底する
	・	
その他	・	
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
5月 14日	直径60cmのクヌギが園路に倒壊。被害はなかったが、再発防止のため、翌日、園内の枯損木の調査を行った。
7月 6日	何者かによって園内のロープ柵が切断された。警察に届け出るとともに、監視体制を高めた。
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

## 9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>上半期では、前年同時期より来園者が増加したが、7月8月9月は来園者数が伸びなかった。いずれの月も、連休や休日時期に降雨日が多く、来園者の減に影響したと思われる。散策利用が当公園の特長であり、天候の様子により利用が極端に左右されやすいと考えられる。管理面では、春から夏にかけて、植物管理が主な作業となり、夏場に繁茂する雑草の除去や、低木の刈込みなどを中心に作業を実施した。倒木もあり植物管理が重要となっている。イベントも「竹林ライトアップ」、「子供茶道体験教室」などが好評で、北蔵ギャラリーも「ガラス工芸展」などの利用もあり一般利用が浸透しつつある。全体的に良好な管理が出来たと思われるが、倒木対策として高木管理の充実が課題となっている。</p>
施設所管課	<p>当公園は、比較的近隣の利用者が多く、遠方からの来園者に公園を知ってもらうことが大切である。利用に当たっては、天候に左右される性格の公園のため、利用者の変動はやむを得ない面はあるが、幅広く来園者を誘致するため、前年度までの指定期間で始めた新しい取り組みが活かせるような戦略が必要である。また、当公園は20年経過した施設であるため、樹木も含め老朽化した施設については、日常の監視には注意する必要がある、県も指定管理者と協議し今後の修繕や改修を行っていく。</p>